

創立記念講話 （11月5日の創立記念日を前に）

江戸川学園取手小学校は、2014年4月に開校したばかりです。では、どうして11月5日が、本校の創立記念日なのでしょう。それは、江戸川学園取手高等学校が、1977年（昭和52年）11月5日、茨城県から設置認可が下りた日に由来します。その翌年の1978年（昭和53年）4月1日開校となり、4月6日に高等学校第1期生998人を迎えて、第1回入学式が挙行されたそうです。そして、9年後の1987年（昭和62年）に中等部ができました。これで、中高6ヵ年一貫教育校となったのです。このあたりから進学実績がぐんと伸びたのです。それから27年後の今年、小学校ができ、茨城県初の「小中高12ヵ年間一貫教育校」となったのです。

高等学校の校舎を建てる場所は、何もない原野でした。利根川が悠然と流れ、遠くにはくっきり富士山が見えました。そこから、若人の夢を実現させていくことは、まさに「無から有を生む」機運に満ちていました。ここで「世界を築く礎」となる人材を育てるのだと、固く決意したのだそうです。

あれから37年の年月が過ぎました。創立以来「心豊かなリーダーの育成」を目指して、世界の中でリーダーとして活躍できる人材育成に取り組んで参りました。開校時から将来を見通した教育理念のもとに「規律ある進学校」としての人間教育に力を注いで来たのです。校歌の1番には「世界を築く礎」という言葉が入っています。2番には「未来を拓く情熱」そして3番には「時代を担う若人の誇りと知恵と責任を立ちて誓わん」という言葉が入っています。これから校歌を歌うときには、建学の精神が反映されていることを意識して、「希望を持って」「澁刺と」「力強く」「高らかに」声を出してください。

本校は茨城県初の「小中高一貫教育校」として、世間から注目されています。皆さんは、「江戸取生」として期待されています。制服制帽を身に着けたとき、校外でのマナーには特に注意して、規律正しい行動をとってください。まずは明るく元気よく挨拶することが大事です。また、校門の一礼は、自分自身の心と対峙するための一礼です。一礼を自ら進んで行うことで、人間的にポジティブな精神が培われるのです。これからの生活の中で、本校の1・2年生として「誠実に」「謙虚に」「努力して」行動してください。

あす11月5日は創立記念日で休日となります。きょうの話を思い出し「江戸取生」としての自分を深める1日としてください。10年後の自分、20年後の自分は、どうなっているのかをデザインし、未来の自分と対話をする一日にして欲しいと思います。

最後になりますが、本校の益々の発展と児童の皆さんの限りない成長を願い、創立記念講話とします。

平成26年11月4日

江戸川学園取手小学校 校長 若林 富男